

# 謹賀新年

平成31年 元旦



矢巾町長  
高橋 昌造

あけましておめでとうござい

ます。町民の皆さまにおかれましては、健やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろより、町勢発展のためのご理解とご支援をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

「やはばの未来 みんなで創ろう まごころを込めて」のスローガンのもと、職員一同、新たな決意を持って様々な課題に取り組んでまいります。

最優先課題として、子育て支援と教育環境の充実、人生100年時代に向けての保健・医療・福祉の充実、特に障がい者および高齢者福祉の充実、次に人口減少問題に対応した住宅政策、若者や女性が働く場の確保

のための企業誘致、農商工業の振興と地域の活性化、ごみの減量化や省エネ・温暖化対策などの環境問題への取り組み、地域の安全・防災対策の充実、スポーツと芸術文化の振興、国道4号盛岡南道路をはじめとする道路交通網や道の駅などの社会資本整備、観光振興などの取り組みを通じて、本町の発展と町民福祉向上のため、職員一同全身全霊を傾けるとともに町民の皆さまと共に歩んでまいります。

いま子どもたちは、音楽やスポーツ分野などにおいて大いに活躍しております。未来ある子どもたちが「ふるさと矢巾」を誇りに思い、自分らしさを見つけられるまちを目指してまいります。

町民皆さまのさらなるご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。この一年が皆さまにとってすばらしい年になることをご祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。



矢巾町議会議員  
廣田 光男

町民の皆さま、あけましておめで

とうございます。希望に満ちた輝かしい亥年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日ごろから町議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、本町における町政課題としては、9月の岩手医科大学附属病院移転開業に向けた交通渋滞やデマンド型タクシーの導入による交通体系の整備、そして国道4号盛岡南道路の4車線化ルートとの決定と、多くの課題への対応が必要となっております。

また、本町農業の振興と所得向上対策で農家自身が自己完結による経営策が求められ、厳しい選択が求められております。

今後、開かれた議会をめざし情報公開に一層心がけ、町民と議会との懇談会の開催、小中学生議会の開催、ネット配信による議会中継、そして議会資料のペーパーレス化や情報伝達の迅速化などを図るタブレットの活用など、更なる議会改革に取り組んでまいります。

議会本来の任務は、地域的に多様な住民の意思を反映させて、執行機関とは相互に牽制しあいながら一歩離れて行政監視に努めなければならぬと思っております。しかし、議員が執行機関より離れすぎてもその役割を果たせないことも事実であり、常に執行機関と一歩離れて二歩離れずの姿勢で議会活動を展開していく所存であります。

結びになりますが、町民の皆さまのご多幸とご健康をお祈り申し上げますとともに、亥年にあやかり何事にも積極的に率先して難問に挑戦しリーダーシップを発揮し町政の発展に貢献してまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。





今年亥年。かつて亥年の矢巾町で起こった出来事を集めてみました。

昭和46年(1971年)



第23回岩手県民総合体育大会の相撲競技を、8月21、22日矢巾温泉郷内特設相撲場で開催。多くの方が詰めかけ、大会が盛り上がりました。

昭和58年(1983年)



農業のできる体に鍛え直す目的で、5回目の「東徳田元旦マラソン大会」を開催。参加者約100人が年初めに、さっそうと区内を駆け抜けました。

平成7年(1995年)



白沢住民自治会は昔の土木作業を再現しました。写真は「亀の子」の作業中で、石に縄を数十本結び付け、石を上下させて建物の地固めを行う様子を再現。

平成19年(2007年)



村松誠一さん一家を筆頭に結成されたゲートボールチーム「岩手矢巾」が内閣総理大臣杯第24回全日本世代交流大会で初優勝という快挙を成し遂げました。

新春アルバム・プレイバック2018

未来への鼓動

昨年町内では、新たなまちの発展を予感させるニュースがたくさんありました。1年間を振り返ってその一部を紹介します。



岩手医科大学附属病院の建設が着々と進む

平成31年9月に開院予定の「岩手医科大学附属病院」。病棟の建設が着々と進んでいます。

医大関連施設の移転事業は県内外で注目を集めており、開院すれば、医療・福祉の充実、町を訪れる方の増加が見込まれ、矢巾町はまた一歩大きな躍進をとげることとなります。

開院に伴い町では、周辺道路の整備や、矢幅駅から国道4号までの県道沿いに街灯を設置するなど受け入れ態勢を整えています。

平成30年は音楽の年でした。

吹奏楽では、「全日本吹奏楽コンクール東北大会」に煙山小吹奏楽部が3年連続4度目の出場、矢巾中吹奏楽部は3年ぶり2度目の出場を果たしました。

合唱では、「全日本合唱コンクール全国大会」に矢巾北中特設合唱部の女声が2年連続3度目の出場、不来方高校音楽部は12年連続25度目の出場を果たしました。

「音楽のまち やはば」を掲げる町にとって、うれしい話題でした。



11月27日、光のページェント点灯式で歌声を披露する矢巾北中特設合唱部

町内4学校が美しい歌声・音色を披露!

平成30年3月1日からコミュニティ放送「やはラヂ!」が始まりました。町からのお知らせや町民にスポットを当てた番組を放送してきました。

7月18日に放送100回、12月6日に放送200回を迎えました。これからも皆さんに親しまれる番組を目指していきます。

番組名の「やはラヂ!」は、防災ラジオ「やはラジオ」とラヂオ・もりおかの放送周波数帯を利用していることから由来しています。



町情報番組「やはラヂ!」の放送がスタートしました